

●韓国

マクロ経済動向

韓国銀行（中央銀行）が1月26日に公表した2016年の経済成長率（速報値）は2.7%で、前年の2.6%を上回った。需要項目別に見ると、内需では、最終消費支出は2.8%で前年の2.4%から上昇した。固定資本形成は5.3%で前年の3.8%から上昇した。その内訳は、建設投資が11.0%で前

年の3.9%から大きく上昇した。一方、設備投資は▲2.4%で前年の5.3%からマイナスに転じている。外需である財・サービスの輸出は1.4%で、前年の0.8%から低下している。

2016年第4四半期の成長率（速報値）は、季節調整値で前期比0.4%（年率換算1.6%）で、前期の同0.6%を下回った。需要項目別に見ると、内需では、最終消費支出は同0.3%で前期の同0.8%から低

下した。固定資本形成は同0.8%で前期の同2.0%から低下した。その内訳では建設投資は同▲1.7%で前期の同3.5%からマイナスに転じた。一方、設備投資は同6.3%で前期の同0.2%から上昇している。外需である財・サービスの輸出は同▲0.1%で前期の同0.6%からマイナスに転じている。

2016年の鉱工業生産指数の伸び率は1.0%であった。2016年第4四半期の伸び

率は季節調整値で前期比0.6%となり、前期の同0.1%から上昇した。月次では季節調整値で、2016年12月に前月比▲0.5%、2017年1月に同3.3%となっている。

2016年の失業率は3.7%で前年の3.6%から上昇した。2016年第4四半期の失業率は季節調整値で3.6%であった。月次では、2016年12月3.5%、2017年1月は3.6%となっている。

2016年の貿易収支(IMF方式)は1204億ドルの黒字で、前年の1223億ドルをわずかに下回った。2016年第4四半期の貿易収支は297億ドルの黒字、月次では2016年12月には94億ドル、2017年1月は78億ドルの黒字である。

2016年の対ドル為替レートは1ドル=1160ウォンで、前年の同1132ウォンから減価した。2016年第4四半期は同1159ウォン、月次では2016年12月に同1183ウォン、2017年1月に同1182ウォン、2月に同1143ウォンと推移している。

2016年の消費者物価上昇率は前年比

1.0%であった。2016年第4四半期は前年同期比1.5%であった。月次では2016年12月に前年同月比1.3%、2017年1月に同2.0%、2月に同1.9%と推移している。2016年の生産者物価上昇率は▲1.8%であった。2016年第4四半期は前年同期比0.8%でプラスとなった。月次では2016年12月に前年同月比1.8%、2017年1月に同3.7%とプラスで推移している。

2017年及び2018年の経済展望

韓国銀行は1月13日に経済見通しを発表し、2017年の成長率を2.5%と予測した。これは2016年の実績2.7%を下回る値である。また2018年の成長率は2.8%としている。2017年の成長率については、前半が前年同期比2.4%、後半が同2.6%としている。

2017年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.5%で2016年実績の2.8%を下回る。設備投資は2.5%で2016年実績の▲2.4%からプラスに転

ずる。建設投資は0.1%で2016年実績の11.0%を大きく下回る。外需である輸出は2.8%で2016年実績の0.9%を上回っている。

2018年の成長率を需要項目別に見ると、内需は民間消費が2.3%で2017年予測を下回る。設備投資は3.6%で2017年予測を上回る。建設投資は0.1%で2017年予測を下回る。外需である輸出は2.8%で2017年予測を上回っている。

2017年の失業率については3.9%で、2016年の3.7%から悪化する。雇用者数の増加は26万人で前年の30万人から縮小すると見込んでいる。2018年については、失業率は3.8%、雇用者数の増加は28万人としている。

一方、2017年の消費者物価上昇率は1.8%で、2016年の1.0%から拡大すると予測している。2018年については1.9%としている。

ERINA 調査研究部主任研究員
中島朋義

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	16年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2016年 12月	2017年 1月	2月
実質国内総生産(%)	2.3	3.0	3.3	2.6	2.7	0.5	0.8	0.6	0.4	-	-	-
最終消費支出(%)	2.2	2.2	2.0	2.4	2.8	0.1	0.8	0.8	0.3	-	-	-
固定資本形成(%)	▲0.5	4.2	3.1	3.8	5.3	1.2	2.7	2.0	0.8	-	-	-
鉱工業生産指数(%)	1.3	0.7	0.2	▲0.6	1.0	0.1	1.1	0.1	0.6	▲0.5	3.3	-
失業率(%)	3.2	3.1	3.5	3.6	3.7	3.8	3.7	3.8	3.6	3.5	3.6	-
貿易収支 (百万 USドル)	49,406	82,781	88,885	122,269	120,446	28,955	33,534	28,268	29,689	9,433	7,814	-
輸出(百万 USドル)	603,509	618,157	613,021	542,881	511,776	118,316	128,243	127,558	137,658	47,953	44,108	-
輸入(百万 USドル)	554,103	535,376	524,135	420,612	391,330	89,362	94,709	99,290	107,969	38,520	36,294	-
為替レート (ウォン/USドル)	1,127	1,095	1,053	1,132	1,160	1,201	1,163	1,120	1,159	1,183	1,182	1,143
生産者物価(%)	0.7	▲1.6	▲0.5	▲4.0	▲1.8	▲3.3	▲2.9	▲1.8	0.8	1.8	3.7	-
消費者物価(%)	2.2	1.3	1.3	0.7	1.0	0.9	0.8	0.7	1.5	1.3	2.0	1.9
株価指数 (1980.1.4:100)	1,997	2,011	1,916	1,961	2,026	1,996	1,970	2,044	2,026	2,026	2,068	2,092

(注) 国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数は前期比伸び率、生産者物価、消費者物価は前年同期比伸び率、株価指数は期末値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、鉱工業生産指数、失業率は季節調整値
国内総生産、最終消費支出、固定資本形成、生産者物価、消費者物価は2010年基準
貿易収支、輸出入はIMF方式、輸出入はfob価格
(出所) 韓国銀行、統計庁他